

厚生労働大臣表彰

民生委員・児童委員として長年にわたり、地域社会の福祉の増進につとめてきた功績が認められ、1月16日、田村憲久厚生労働大臣から嶋村弘道さん(上野)へ、厚生労働大臣特別表彰が授与されました。

4月18日に役場で伝達式が行われ、表彰状を手にした嶋村さんは「5期15年間の委員活動で、仕事との両立が難しかったが、このような賞を頂いて光栄です」と受賞を喜びました。



厚生労働大臣より表彰された嶋村さん

林田能寛の遺徳を偲ぶ

4月5日、私財を投じて八勢眼鏡橋を完成させた、五人の先哲の1人、林田能寛の偉業を後世に語り継ぐことを目的とした、28回目の林田能寛祭が開催されました。林田能寛顕彰会(福味総一郎会長)主催。林田家の墓地がある、妙琺寺(滝川)の墓前で供養後、上野地区の八勢眼鏡橋に会場を移し神事が執り行われました。神事後には、福味会長による紙芝居「八勢眼鏡橋物語」が披露されました。



八勢眼鏡橋の上で紙芝居を鑑賞する参加者



いつも笑い声が絶えない天狗会の会員たち

天狗会 笑うて脳は若返り

笠(題)に、話言葉で七・五を付けて楽しむ肥後狂句。戦後、天狗会では盛んに行われていましたが、一時途絶えていました。昭和56年1月の再刊から、毎月発刊。今回、400号を記念して、4月21日に会員6人で例会を開き祝いました。

天狗会では会員を募集しています。毎月、第3月曜日の10時から西往還公民館で肥後狂句を楽しんでいます。問い合わせは☎282-0066(吉田まで)



念願の完成を喜び参加者たち

念願の道路完成 記念碑の除幕

4月13日、餅畑天満宮で、町道餅畑天君線道路改良工事記念碑の除幕式が行われ、区民や関係者22人が参加しました。道路は平成14年11月に着工し、平成25年3月に竣工。総延長は365mになります。餅崎武久餅畑区長は「昔の道は車の離合もできず、子どもが歩くのも危険な道だった。改良工事を区の総会で提案して今年で23年目。完成したのは夢の中の夢のよう」と笑顔で話しました。

御船川清掃に約960人

4月29日、隣接する市町村が連携して行う緑川流域一斉清掃にあわせ、地域住民、団体や企業、御船中学校や御船高校の生徒など、約960人が参加して御船川の清掃が行われました。朝8時30分から始まった清掃は、妙見橋からメロディー橋までのゴミ拾いや草取りを行い、参加者は汗を流しました。この清掃は今年で21回目になります。



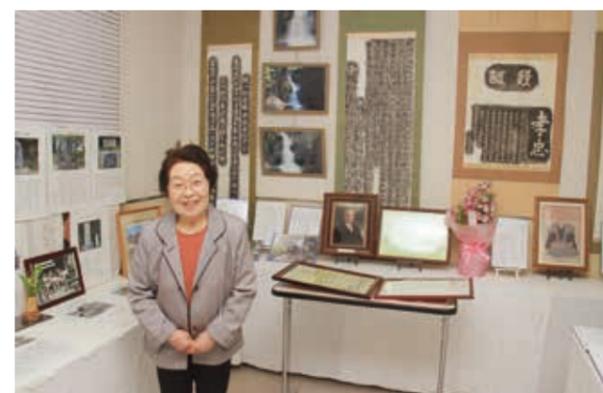
清掃を行う参加者たち

花いっぱいシンボルロード (恐竜ロード)

4月15日、シンボルロード周辺の花植えが行われました。花植えには、シンボルロード花壇協議会(町ボランティア協議会・自衛隊隊友会・クレインパレス)や御船中学校、御船高校の生徒、約120人が参加。シンボルロード沿いの花壇への花植えや草取り、周辺ゴミ拾いを行いました。(シンボルロードは「恐竜ロード」の愛称で親しまれています)



大勢のボランティアが参加



妻のリエコさんと展示された資料

長年の研究記録

町の郷土史家、奥田盛人さんが生前の研究で使った、碑文の拓本など約70点が展示されている「奥田盛人先生を偲ぶ展覧会」が、4月22日から5月31日まで七滝郵便局で開かれています。奥田さんは長年、碑文の解読などを通じ、郷土史発掘に取り組みました。妻のリエコさんは「夫が郷土史家として活動してきたことを地域の人たちに見てもらい、活動を受け継いでもらえらうれしいです」と話しました。



タケノコ掘りを楽しんだ参加者たち

水越でタケノコ掘り体験

水越地域活性化協議会(田上一也会長)主催のタケノコ掘り体験が4月19日に開催されました。

体験には、熊本市や八代市など町外から12人が参加し、タケノコ掘りやワラビ刈りを楽しみました。タケノコ掘りを楽しんだ後は、水越郷土料理のバイキングとして、タケノコの炊き込みご飯や味噌煮、たらの芽の天ぷらやクレソン、わらびが昼食として並び、参加者は水越の幸を楽しみました。